

はじめに

近年、心身が健康であることだけでなく、社会的な面も含め満たされた状態であるウェルビーイングについて注目されており、この観点から「健康」を考えることが求められています。こうした考え方は、自分は健康であると感じることである「主観的健康感」とも深く結びついており、健康施策においても、この視点を踏まえた取組の必要性が高まってきています。また、新型コロナウイルス感染症の流行という未曾有の危機を経て、日常からの適切な医療に加え、新たな感染症等の健康危機発生時においても迅速に必要な医療を受けることができるよう、健康に関する安全・安心の体制づくりの重要性が改めて認識されました。

このような社会情勢を背景に、区では、令和6年3月に策定した「大田区基本構想」において、基本目標2に「文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち」を掲げ、区民の皆様が生涯にわたっていきいきとした生活が送られているまちの姿を描き、そのまちの実現に向けて取組を進めています。

大田区基本構想で掲げた将来像の実現と社会情勢を踏まえ、区民の皆様の健康づくりを支えるとともに、健康に関する安全・安心を守るため、より実効性のある計画とすべく、このたび、令和8年度からの12年間を計画期間とする「おおた健康プラン（第四次）」を策定いたしました。

本計画では、「誰もが生涯にわたって健康で生きがいを持ち、いきいきと暮らせるまちをつくります」を計画理念に掲げ、「健康寿命の延伸」、「主観的健康感の向上」を目指し、「生涯を通じた心身の健康づくり」と「健康に関する安全・安心の確保」をこれまで以上に拡充するとともに、「健康を支えるための環境づくり」にも取り組み、社会とのつながりを強化してまいります。

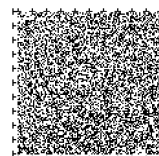
本計画に基づき、区民の皆様や地域団体、企業等の多様な方々と一緒に健康に関する取組を進め、区民の皆様に「自分は健康である」と実感いただけるようより一層努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、ご協力をいただきましたおおた健康プラン推進会議委員をはじめ、貴重なご意見、ご提案をいただきました皆様に心より感謝申し上げます。



令和8年3月
大田区長

鈴木晶雅



目次

第1章 プラン策定にあたって

1 策定の趣旨.....	3
2 計画の位置づけ.....	4
3 計画期間.....	6

第2章 計画の基本的な考え方

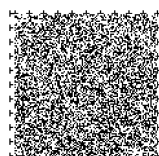
1 理念.....	9
2 基本目標.....	9
3 総合指標.....	9
4 計画全体にかかる視点・考え方.....	10
主観的健康感の向上に向けて.....	10

第3章 大田区健康を取り巻く現状

1 人口推移、高齢化率の推移と推計.....	15
2 出生・死亡の状況.....	16
3 主要死因.....	17
4 健康寿命・平均余命.....	18
5 要介護・要支援認定者の状況.....	20
6 医療費の状況.....	21
7 主観的健康感.....	22

第4章 各基本目標と取組

計画の体系.....	29
第4章の見方.....	30
基本目標1 生涯を通じた心身の健康づくりを推進します.....	31
区分1 生活習慣の改善.....	31
区分2 主な生活習慣病の発症予防と重症化予防.....	58
区分3 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり.....	70
区分4 親と子の健康づくり【大田区母子保健計画】.....	84
区分5 こころの健康づくりと自殺対策の推進.....	89
基本目標2 健康を支えるための環境をつくります.....	102
基本目標3 健康に関する安全と安心を確保します.....	112



第5章 資料編

1 地域診断	135
2 推進体制	147
3 策定経過	152
4 アンケート概要	154
5 第三次プラン数値目標評価	155
6 数値目標一覧	162
7 関連事業一覧	173
8 用語集	184
9 ライフステージ別区民の取組例	190

「*」マークのついた用語は、第5章の「8 用語集」に用語解説を掲載しています。

コラム

医療DXとは	25
野菜・果物の摂取	38
身体活動量（歩数）を増やそう	42
COPDについて	50
おやつ選び方	75
女性の健康と女性ホルモンの関係	83
こころのSOSのサイン	94
ゲートキーパーとは	95
結核について	118
大地震でケガをしたら救護所へ	123
セルフメディケーションとは	124
熱中症に気をつけよう！	132
地区の特徴に応じた健康づくりの推進	146

